



延喜式内名神大社

# 生島足島神社便り

Vol.41

ごあいさつ .....	2
例祭・第十一回神賑祭が祭行される .....	4
祇園祭・夏越の祓「茅の輪くぐり」 .....	5
いままでの祭事・行事 .....	6
いままでの祭事・行事 .....	7
これからの主な祭事・行事／編集後記 .....	8



9月19日午前、例祭(秋季祭)が斎行され、午後2時から歌舞伎舞台にて第11回神賑祭が開催されました。真田陣太鼓、御諏訪太鼓の迫力ある演奏が境内に響き渡りました。

# ごあいさつ

猛暑日や突然のゲリラ豪雨が続いた夏も過ぎ、過ぎしやすい秋の季節となりました。新年度から早やハカ月。いままでの経過を宮司さんと総代長さんに語ってもらいました。



## ごあいさつ

宮司 武藤 美登

平成甲午年も早神無月の中旬を迎え秋も酣の候、氏子各位には益々御多様の段大慶に存じ上げます。

平素の、御協力に感謝申し上げます。御蔭を以て初春以来、事もなく喪もなく有らしめ神明に御奉仕できたことを、厚く御礼申し上げます。

今は、七五三詣での児等で賑わいを見せております。やがては、御移神事から御籠祭、新穀感謝祭へと続き、御祭神の御加護と御神徳に感謝と祈りを捧げ四季折々の祭が執り行なわれてまいります。さて、斎館が新築され、報恩殿の解体も無事に終わりました。境内の様子が大きく変わり、境内地がより広く感じられます。今後、更なる整備が進められ、より厳しく麗しく、そして御参拝の氏子崇敬者にとって出入りの宜しい美しい宮になって行くものと存じます。

来年、三月十四日に北陸新幹線が金沢まで開業されます。四月から五月にかけて、七年に一度の善光寺御開帳と戸隠神社式年大祭が行われます。

翌平成二十八丙申年には、生島足島神社式年御柱大祭が斎行されます。

この、平成丙申年のNHK大河ドラマで戦国武将真田幸村の生涯を描く「真田丸」の放送が決定しました。

生島足島神社文書九十四通には、武田信玄が必勝を祈った「願文」や家臣団に忠誠を誓わせた「起請文」とともに、真田昌幸・信幸父子の「朱印状」信幸の「寄進状」が所蔵され、また撰社諏訪神社は、信幸の寄進により再建されました。当社は、武田家はもとより真田家ゆかりの神社としての崇敬も集めております。

御祭神の御守護のもと、氏子崇敬者の方々から広く御協力を仰ぎ、役職員総代心ひとつに祭祀を厳修し、神社の尊厳護持、御社頭御隆昌のために努めてまいりたいと存じます。

## ごあいさつ

総代長 依田 延嘉

向寒の候、氏子各位の御多幸と御健康をお祈り申し上げ、御挨拶と致します。

秋冷の候、氏子崇敬者の皆様には御清祥のことと心よりお慶びを申し上げます。平素は神社の発展と御神徳の高揚の為に温かい御支援と御協力を賜り心より敬意と感謝を申し上げます。神社便りの発行に当たり一言ごあいさつを申し上げます。

昨年十月に皇大神宮、豊受大神宮において遷御の儀が厳肅の裡に執り行われました。国民の広い崇敬と奉賛の誠により斎行され、揺るぎなき我が国の伝統・文化が永く子孫へ伝えられることを慶びとするものであります。神宮式年遷宮の斎行を通して内外に発信された伝統を重んじて自然を尊び神々や祖先と共に生きるという敬神崇祖の精神は国民挙げての神宮崇敬の真心には

じまるものでその心の継承に努力し祭祀の厳修と神社振興に努めてまいりたいと思います。又年末には神宮大麻の頒布に氏子の皆様に御協力を賜りたいと考えております。

さてここで報恩殿について御報告を申し上げますが八月二十九日より取りこわしの工事が始まっており九月末にはすべて取りこわしが終了する予定ですが取りこわした後にテナントハウスを造り現在生島足島神社写真室として七五三などの貸衣装、結婚式の衣装の取り扱いをしております「夢うさぎ」さんに貸す事としており十一月中には完成の予定で工事を進めており完成移転が終了しましたら皆様方にも御協力を御願い申し上げます。そば処「生島の杜」はこのまま残す事と成りテナントハウスの残地は駐車場として整備し参拝者御不便のない様にしたいと思っております。さらに来年度は御柱大祭準備の年と成ります氏子、崇敬者の皆様方の絶大な御支援、御協力を賜り神社の尊厳護持御社頭御隆昌のため御高配を賜り氏子、崇敬者の益々の御健康と御多幸をお祈り申し上げ御挨拶と致します。



4月19日 斎館新築に関わる報道陣からのインタビュー





4月19日宮嘉組へ八幡社新築の感謝状の贈呈式



4月19日斎館新築祝い

## 新任神職の ごあいさつ

新人紹介 権禰宜 宮原 久



本年四月より権禰宜として生島足島神社に奉職しております宮原久と申します。

隣村の青木村

出身で神職資格習得後は兵庫県姫路市鎮座の射楯兵主神社、東京都赤坂鎮座の乃木神社に奉職のち郷里であります長野に戻ってまいりました。御縁をいただき、県下有数の古社でありますここ生島足島神社に奉職させていただくことになりましたこと、誠に有難きことにて、身の引き締まる思いであります。「雨と一揆は青木から」と古来より伝聞されておりますが、ややこしいことは青木からと言われぬよう、改革前進の精神を持って氏子総代の方々と力を合わせ、当社の発展・安泰のため微力ながら努力してまいります所存であります。何卒皆様方にご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

小県郡青木村中村出身  
昭和四十九年十二月二十三日生  
皇学館大学神道学専攻科卒業

## 昇格の ごあいさつ

権禰宜 甲田 将史



先日、九月一日付けで、本社本より当社権禰宜を拝命致しました。今回の任命具申につき

ましては、清住上小支部支部長、武藤宮司、依田総代長をはじめ、多くの方々に関係各所に様々なお力添え、お口添えを頂きましたこと、厚く御礼を申し上げます。

出仕を拝命しましてから、早いもので三年半を過ぎ、これまでもご迷惑をおかけした点多々あるかと思いますが、権禰宜へと昇進させて頂けるといふことは、生島大神様、足島大神様、そして皆様に僅かでも評価頂けたということであれば、この御縁に感謝する次第です。

正直、「九月一日を境に、今後も特に変わらないだろう」というような、実感が持てない面がありました。いざ九月一日を迎え、浅黄色の袴を着け、一步社務所より境内に踏み出した瞬間、今までの社務では感じた事の無い、何か恐ろしさの様なものを感じました。

大神様よりお叱りを頂いたのか、私自身がその時に改めて実感したということか定かではありませんが、より一層当神社職員として、そして神道人としてこれまでに気を引き締めて精進しようという決意を固めました。

まだまだ至らぬ点も多くありますが、今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。

以上2名のご紹介ですが、何卒、御支援御協力をお願い申し上げます。

## 〈お詫びと訂正〉

神社便り第40号4ページ、満期退任された副総代長 伊藤孝利様と5ページ、経理部事業計画 総務部長に誤りがありました。お詫びし、訂正いたします。

正しくは、伊藤利孝様。総務部長は経理部長です。

## 例祭・第十一回神賑祭 が祭行される

九月十九日、県神社庁から神社本庁  
献幣使が参向され、総代や崇敬者ら参  
列のもと、御本社で例祭が厳肅に斎行  
されました。

午後二時からは境内の歌舞伎舞台を  
ステージに神賑祭が開催されました。

神賑祭は大地と太陽に生きる喜びと  
感謝の気持ちを表す祭典として第十一  
回目を迎えました。

今回は2016年NHK大河ドラマ  
『戦国武将真田幸村の生涯を描く』『真  
田丸』放送決定!にに伴い、真田陣太鼓、  
御諏訪太鼓の迫力ある演奏が境内に響  
き渡りました。



第11回神賑祭が午後2時から、  
武藤宮司、依田総代長の  
あいさつで開演されました。

### 第一部

真田陣太鼓

「出陣」「上田原の合戦」「佐助」「真田丸」の  
4曲を9名の方々に演奏されました。



### 第二部

御諏訪太鼓

岡谷から来られた奏者5名の  
皆さんによる迫力ある演奏が  
境内に響きわたりました。



# 祇園祭

七月二十七日(日) 生島足島神社祇園祭が盛大に斎行されました。

晴天に恵まれた午前八時から子供みこし安全清祓式の後、子安社の前で小学生までの子供たちが学年別に記念写真。続いて舞い込みの練習をしました。

午前九時、二手に分かれ子供みこしが出発しました。その後、天候が急変し雨が降り出し、小学六年生女子の舞手五名が社務所前で足止めとなりました。子供みこしの人たちもビショ濡れとなって戻って来ました。

雨も上がり、十一時十五分から「浦安の舞」を神楽殿で厳かに奉納しました。下之郷三頭獅子舞は午後二時半に神楽殿において奉納されました。大人神輿は午後四時からの出発に変更されてから今年で二回目。

大勢の方々が揃って楽しんで頂けました。



舞い込みの練習



子供みこし安全清祓式



子供みこし舞い込み



しものごう敬老園へ舞い込み

御本社(上社)と▶  
摂社(下社)に  
獅子舞い2回奉納

▼午後2時半から神楽殿で  
三頭獅子舞奉納



突然の雨降りの為▶  
社務所で足止め



◀「浦安の舞」を  
神楽殿で奉納



▼午後4時から大人神輿が練り歩く



公民館広場での▶  
大人神輿



## 夏越の祓

### 「茅の輪くぐり」

六月三十日夕刻、突然降り出した雨も上がり、「夏越の祓」茅の輪くぐりの神事が執り行われました。

半年間の罪やけがれを祓い清める儀式で家族連れをはじめ約150人が参集。形代(かたしろ)と呼ばれる人形(ひとかた)に罪やけがれを移し祓いの後、参列者は暑さ厳しい夏を乗り切るため、古式にのっとり茅の輪を左、右、左と8の字に三回くぐり、夜七時半ころの終了となりました。

神事 大祓詞奏上



神事 八針に取さく



茅の輪くぐりを行う参列者







いままでの祭事・行事

八月 八月 八月

四日 一日

はちがつのつきなみさい  
八月月次祭  
役員研修旅行

若一王子神社・仁科神明宮(大町市)



若一王子神社鳥居前



若一王子神社  
三重の塔



仁科神明宮拝殿



仁科神明宮本殿

九月 九月 九月

一日

くがつのつきなみさい  
九月月次祭 田面神事

九月 九日

第五十回全国神社総代会大会

九月

十五日

於岐阜県  
八幡社例祭

※旧敬老の日

九月

十九日

(御本社)例祭 神賑祭

他にも、東信各地域の高校・小中学校・  
保育園・幼稚園の生徒・児童の皆さんが  
必勝祈願・遠足等で参拝に訪れました。

十月 十月

一日

じゅうがつのつきなみさい  
十月月次祭



八幡社例祭



東塩田保育園  
も参列

八月 八月 八月  
五日 第二十六回信州上田大花火大会  
二十八日 報恩殿神棚降ろし 打毀し清祓い式



報恩殿の  
取こわし前



報恩殿神棚降ろし  
打毀し清祓い式



神社関係者  
業者の玉串拝礼



屋根瓦の撤去が行われる



報恩殿の取こわしが始まる



これからの主な祭事・行事

十月 下旬 御歳代稲刈り(抜穂)  
十一月 一日 十一月月次祭  
神(御)井神事  
上神(御)井祭・下神(御)井祭  
第七回生島足島神社菊花展

〃 〃 下旬まで 御釜清祓

十一月 二日 御移神事(諏訪様遷座祭)  
御籠祭(四月十三日まで)

十一月 三日 子安社例祭

十一月 四日 七五三本日  
十一月 十五日 新穀感謝祭(新嘗祭)

※ 勤労感謝の日

十二月 一日 十二月次祭  
十二月 二三日 天長(節)祭  
十二月 二十五日 十三社例祭  
十二月 三十一日 古神札(神符守札)焼納式  
十二月の大祓式(師走の祓)

越年除夜祭



御本社においての初宮詣・七五三詣。随時受付中



安産祈願や、お子さんの成長をお守りされる子安社

初宮詣・七五三詣はお子さんの健やかな無事成長を感謝、また祈る大切な儀式です。  
人間の一生の中で、それぞれ大切な節目の年がありますが、七五三もお子さんにとって大切な人生儀礼です。

初宮詣・七五三詣のご祈願は、午前9時から午後4時までです。

・所要時間は約十五分です。神職がお祓いをして、神様に祝詞を奏上致します。その後、福鈴の振り幣を受け、玉串を捧げ拝礼していただきます。

貸衣装、記念撮影は神社写真室「夢うさぎ」をご利用できます。



新年1月中 執行しております



名入れ福だるま

予約受付中

平成二十七年一月一日から十五日まで毎日 名入れ福だるまを受付中です。

日頃のご協力に感謝を込めて新年福だるまを御祈禱、御神札・福銭とともに頒ち致します。予約ご希望の方は十二月八日までに神社・広報部までお問い合わせください。



生島足島神社では「福だるま」及び「招き猫」の授与を致しております。

当神社の「福だるま」「招き猫」は大変御利益があります。

清祓いを致し「魔」を祓って「幸と福」を招くと言われております。



祝日には国旗を掲げて みんなでお祝いしましょう!!

体育の日 十月 十三日(月)  
文化の日 十一月 三日(月)  
勤労感謝の日 十一月 二十三日(日)  
振替休日 十一月 二十四日(月)  
天皇誕生日 十二月 二十三日(火)

編集後記

季節の変わり目となって来ましたが、氏子崇敬者の方々には御身体を崩さぬ様、御健康で有られる事をお祈り致します。

(広報部)